

長野県労働組合連合会（県労連）
長野市県町593 Rinks593 Tel.026-217-9071 Fax026-217-9073
✉ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/



第47回 長野県労連 定期大会

9月14日(土)、長野県労連「第47回定期大会」を24組織、58人の参加で開催。ジェンダー平等宣言、組織建設新中期計画などを含む2024年度運動方針が決定されました。また、新組合の直接加盟について提案があり承認されました。

討論では11名から発言。各単産・地域労連から具体的に生き生きとした報告で、元気のでる大会となりました。

役員選挙では、右表の24人が信任されました。任期は2年です。運動のバージョンアップを目指して頑張ります。

役職	氏名	出身労組
議長	細尾 俊彦	高教組
副議長	大矢 美奈子	医 労 連
	小林 吟子	医 労 連
	齊京 信一	J M I T U
	鎌倉 博史	県 国 公 共 闘
	遠山 計	飯伊地区労連
	藤網みどり	県 労 連
事務局長	茂原 宗一	医 労 連
事務局次長	唐澤 佑作	高 教 組
	山崎 芽久美	障 教 組
	岩谷 元気	県 一 般 労 組
幹事	傳田 泉	医 労 連
	本間 繁	自 治 労 連
新	神谷 高士	建 交 労
	甘田 芳子	生協労連コープ ネットグループ 労働組合
	戸澤 一雄	年 金 者 組 合
	阿藤 満政	中 高 地 区 労 連
	成田 隼	長 野 労 連
	中澤 徳士	上 小 労 連
	林 幸彦	佐 久 地 区 労 連
	高橋 渡	松 本 地 区 労 連
	八重田 景子	医 労 連 県 労 連
会計監査	内堀 守	高 教 組
新	高橋ただし	医 労 連



◀ジェンダー平等宣言を提案する大矢ジェンダー平等委員長（副議長）



今大会で加盟が承認された▶された「カシヨ商事労働組合」挨拶する原山執行委員長

大会スローガン

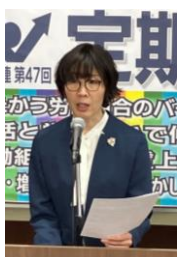
たたかう労働組合のバージョンアップ
対話と学びあい仲間を増やし
労働組合主導の賃上げ・底上げを
軍拡・増税でなく憲法いかし社会保障の充実を

3つの要求の柱

- (1) 大幅賃上げ・底上げの実現
- (2) 公共の再生
- (3) 憲法をいかす政治への転換

組織拡大目標

4年間で25,000人を回復する（単産＝1,100人純増）
（地区労連＝325人純増）。対話と学びあいを文化に



ご多忙な中、来賓としてご出席頂いた皆様
ありがとうございました

◀全労連 高木副議長
労福協 小池副理事長▶
（ろうきん理事長）



建交労 磯野幹事(左)お疲れさまでした
神谷幹事(右) よろしくお祈りします

長野県労働組合連合会（県労連）

長野市県町593 Rinks593 Tel.026-217-9071 Fax026-217-9073

✉ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/

第47回 長野県労連 定期大会

議長あいさつ

「今年の夏は暑かった」と過去形にできない暑さが続いています。異常気象が日常になってしまい気の緩みが生じていると感じます。気候変動に対する意識を高めなければならないと思っています。

この夏は南海トラフ地震騒動もありました。この騒動により元旦に発生した能登半島地震が忘れられてしまうのではないかと心配しています。能登半島は復旧・復興が進まず取り残されています。長野県労連としても引き続き支援を行っていくことを今大会で確認したと思います。



長野県労連
細尾俊彦 議長

物価高騰が労働者の生活を直撃する中、24春闘は昨年に引き続き春闘のあり方が問われました。大手を中心に満額回答が続出し、平均15,000円を超える賃上げとなりました。全労連・国民春闘共闘も「たたかう労働組合のバージョンアップ」を掲げ、労働組合の存在意義をかけて24春闘を闘い、26年ぶりに単純平均8,000円台、加重平均では27年ぶりに10,000円台と私たちが繰り返し要求してきた月例給の大幅引き上げを一定反映させることができました。この成果に確信をもって取り組みを進めていきたいと思えます。

大企業の賃上げが全ての労働者にそのまま反映するわけではありません。またコロナ禍で奮闘してきたケア労働者の待遇改善も全く置き去りになっています。そのしわ寄せで退職者も増えています。診療報酬にベア評価料が設けられましたが、ベアには繋がりませんでした。ケア労働者の待遇改善と人員確保は待たなしの社会問題です。

暮らしと経済の立て直したためには月例給の大幅引き上げと賃金底上げのための最賃引き上げこの2つの旗を高く掲げて、秋年末闘争で公務員賃金の引き上げにつなげていきましょう。ケア労働者の多くは女性です。ケア労働者の低賃金が男女の賃金格差の根底を作っています。今大会ではジェンダー平等宣言を提案します。賃金・雇用の改善を求めていくことはもちろん、あらゆる意思決定にジェンダー平等が貫かれる。そんな県労連でありたいと思えます。

岸田首相は裏金問題で追い込まれ政権を放りだしました。退陣会見で在任した3年間で多くの成果あげたと振り返っていましたが、米国・財界のいいなりに軍拡大増税を推し進め社会保障は切り捨てる。結果、支持率を落とし退陣に至りましたが、それに向き合いおうとしない退陣会見は呆れるばかりでした。

退陣を受けて行われている総裁選には立候補者が乱立し、毎日のように立候補表明がメディアを賑わせ、何かマスコミも一体で必死に刷新感を演出しようとしているように見えます。自民党内のたらい回しでは政治は変わりません。自民党政治を終わらせる。それが問われています。

新自由主義のもとで、社会を下支えする仕組みが壊され、暮らし・いのち・雇用の重大な危機に国民が直面しています。また、気候変動の危機も人類と地球の未来を大きく揺さぶっています。社会と暮らしと職場に、憲法が根付く息づく未来を、子どもたちと次世代に確実に手渡す努力を続けようではありませんか。

第47回 長野県労連 定期大会

特別報告

カシヨ商事労組 原山さん



5月に社員を無視したM&Aが明らかになり、社員で社長に申し入れを行ってきたが聞き入れてもらえず、取引のある県労連に相談し、組合を結成するに至った。

6月にM&Aは撤回されたが、社長に対する不信感が残った。これを機会に社員の待遇改善、安心して働くことのできる労働環境を目指し、8月に要求書を提出。回答があったが、要求にはほど遠い内容であった。みなさんのお力をかりながら、運動を進めていきたい。加盟を認めていただきたい。

新しい仲間を迎えた喜びに満ちた満場の拍手とともに、加入が可決されました。

新型コロナが5類に移行し、検査等が自己負担になり持病が悪化する例もある。補助金も打ち切れ病院経営は大きなダメージを受けている。職員は慢性的な業務過多で、有給休暇取得も困難、夜勤も厳しく、離職者が続出し、他職種に転職することも。

診療報酬改定でベースアップ評価料2.3%が新設されたが、県医労連内ではベアの回答はなく、手当支給と言う結果。賃上げの施策ではあったが、事業者間や職種間の格差も生じた。24秋闘は、いのちを守るキャラバン行動で市町村議会に陳情を提出し地域から声を上げていく。

医労連 金井代議員



JMITU 小松崎代議員



24春闘は異常な物価高騰の下、大きなたたかいであった。統一ストライキ産別団交。5支部が5桁の賃上げ回答を引き出し、全国的な闘いの前進をつくった。

日酸TANAKA支部は9,535円（3.16%）の回答を引き出したが、これでは実質賃金は4～5,000円のマイナス。夏季一時金闘争。一時金は3.5カ月を要求し回答は3.21カ月（平均100,021円）。会社は一時金偏重。24春闘ではストを構えたが、決行できなかった。25春闘はストに立ち上がり、大幅な月例給の賃上げ勝ち取る決意。

第47回 長野県労連 定期大会

高教組 原代議員



学校職場の長時間過密労働に関心が高まっている。24人勸では寒冷地手当など課題があり、これから地公労などで交渉が予定されている。改善目指し奮闘する決意。

36年目になった県民教育署名は、昨年は13,500筆を集約。県知事宛の署名と国会宛の署名があり20万筆目標に取り組んでいる。署名の目的は3点。①家庭負担の軽減 ②教育予算の増額③少人数学級の充実。

教育環境については普通教室へのエアコン設置は100%となったが特別教室や職員室などには半分程度の設置に留まっている。しかし特別な予算は措置せず、学校の需用費でやりくりをとの指示。全体的に設備が古く、エアコンは後回しになってしまう。苦しい環境で生徒も勉強せざるをえない。改善のため、みなさんの協力をお願いしたい。

全労連が推進する米国労組の組織化手法「コミュニティーオーガナイズング」を取り入れ、活動の改善を進めている。

幹事会では情勢報告など定形的な事項は最低限にし、参加者全員が発言し互いに共感や気づきを発表することを心掛けている。幹事会は毎週開催を隔週開催に変更した。毎週の事務局会で改善点を出し合い、回数を減らしたことが前進につながるよう努力している。宣伝行動もより効果的な宣伝を目指し、アイデアの発掘とその振り返りを行っている。

こうした進め方が定着してきた。活動の活性化は意図をもって改善しなければ前進は見られない。次の課題は大会、評議員会の活性化。

7月にはジェンダーをテーマに学習会を実施した。ちゃぶ台かえし女子アクションの中村氏を講師に、第三者のハラスメントへの介入について学習を深め、多くの参加があった。

長野県労連 阿藤代議員



長野県労働組合連合会（県労連）

長野市県町593 Rinks593 Tel.026-217-9071 Fax026-217-9073

☑ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/

第47回 長野県労連 定期大会

生協労連コープネットグループ労組 増尾代議員



24春闘は実質賃金がプラスとなるよう、長野県支部のベースアップ要求額を、1万5千円から2万円に上げた。「春闘アンケート」「私の要求カード」「政策討論集会」など、これまでよりも時期を早めて取り組み、私達の生活の実態と労働組合の要求根拠を経営に伝え、これまでにない額での賃上げ回答が示された。さらに2回の交渉を行い、「職員割引制度」について、実験導入を行うという前進回答を獲得することができた。春闘アンケート、私の要求カードの集約は大きく伸長、労組員の活動参加もすすんだ。

今後「いつでもストライキを実施できる労組」を目指し、労組員の参画と結束力ある労組活動づくりに取り組む。25春闘では中央執行委員会だけでなく、分会単位でのストライキ学習に取り組む。

※ 当日、時間の関係で発言できなかった部分を文書で寄せていただきました。

①次世代育成大きな課題

新しく労働組合に加入するなかまが労組活動に参加するフォローを進めていくことが次世代育成につながります。正規（総合職）では、新卒者を対象としたフォローに継続的に取り組んでいます。2024年度の新卒者を対象とした新人研修は、コロナ禍でのWeb開催からリアル中心となり、新卒者同士が交流し、つながりづくりに取り組む労組活動への参加が広がることが期待されました。採用時研修の労組ガイダンスで新卒者を対象とした交流会を案内するなど、より参加しやすい活動づくりにチャレンジしていますが、思うように参加者が広がっていないのが実態です。

次世代育成の取り組みは、若年層を対象とした活動は継続しつつ、支部の分会フォローを強化し新しく労働組合に加入したなかまが、職場のなかまに誘われて分会での労組活動に参加する活動づくりを進め、次世代育成のすそ野を広げていきます。

②ジェンダー平等推進に向けて、具体化できること

中央執行委員の男女比率は第11期（男性：女性＝19：16）から第12期（男性：女性＝21：15）となり後退しましたが、第13期は役員の入替わりがありつつも（男性：女性＝21：15）と前年の男女比を維持しています。コープネットグループ労組では、中央執行委員の男女比、雇用形態、業態などについてバランスよく選出されている状態が望ましいと考えて進めています。

賃金の男女格差とも関係している均等待遇の実現については、「均等待遇と同一価値労働同一賃金について学ぶ」学習分会資料を作成し5月から6月にかけて分会での学習を進めました。学習資料を使って分会会議が開催され、多くの分会から感想や意見要望などが寄せられました。上部団体や地域では、3月9日開催の「国際女性デー埼玉集会」で、「戦争させない！ジェンダー平等実現へともに声をあげよう行動しよう！」や長野県労連が開催した日生協職員によるLGBTQ学習会などに参加しました。参加が専従役員止まりであることが課題です。今後は分会からの参加者も獲得できるよう取り組んでいきます。また社会全体で性的マイノリティへの理解が進み、誰もが働きやすい働き方と職場づくりの実現をめざし2025年から東京レインボープライドへの参加を労組員へ案内していきます。また、中央執行委員や各支部の執行委員を対象に全労連のジェンダー平等パンフレットを使った学習を計画しています。

第47回 長野県労連 定期大会

松本地区労連 鈴木代議員



能登半島地震支援募金に取り組み、組織内や街頭宣伝で呼びかけた。アメリカ在住の知人から11万弱の募金協力があつた。配偶者が「労働組合なら信頼できる」と後押ししてくれたとのこと。労働組合の認識が日本と違いがあると感じた。

対話と学びあいの文化を作る方針、松本地区労連では旗開きを交流中心に変更し、40数名集まった。

地域ヘルパー労組の1人から相談。所長人事に関わって待遇悪化の提案あり、地区労連が窓口になり、2つの組合を仲介して団体交渉を行った。参加者全員が発言し組合の意義を感じられる交渉となった。

8/20の信毎で佐久総合病院の医師が取り上げられ、認知症になっ

ても尊厳をもって生きられる社会が重要と語っていたのが印象的だった。佐久総合病院としての方針も同じだと思う。仕事の意義を確認し高め合っていくことが大事。

沖縄の米兵性的暴行事件に憤りを感じる。自民党の反対で県民集会が開かれないとのこと。県民集会が開催されるよう、全国で連帯集会の開催をよびかけてほしい。

建交労 神谷代議員

建交労は建設一般などが合同し99年9月に結成。建設一般の前進である全日自労の成り立ちは、終戦直後の日雇い公務員を組織したことが始まりで、低賃金で働いている人が多い。長野県本部の加盟組織であるワーカーズコープ（労協ながの）は、事業団と呼ばれていた。

ワーカーズコープは9月が賃上げの時期。10月の最賃改定でどれだけプラスできるかが課題。扶養内で働くの女性が多い。最賃が上がっても、年収の壁に阻まれる。103万円だけでなく、130万円の壁など、手取りが減るケースもある。また労働時間に制約があるため、責任ある立場にもたちにくい。税、社会保険制度がジェンダー平等、女性の社会進出を妨げている。



佐久地区労連 佐藤代議員



様々な課題でスタンディングアピール行動を実施している。最近、ポケットティッシュの受け取りは減っている。無関心が広がっているか？平和の課題はピースアクション佐久に結集、毎週実施のうち月1回を佐久地区労連が担当している。

争議では聖愛保育園の裁判支援に感謝する。原告を解雇した元理事長が退任し、解決をみたが、労使間のとりきめが守られていないこともあり、今後も支援が必要。

地区労連に結集し、職種を超えて地域で地道にとりくむ。

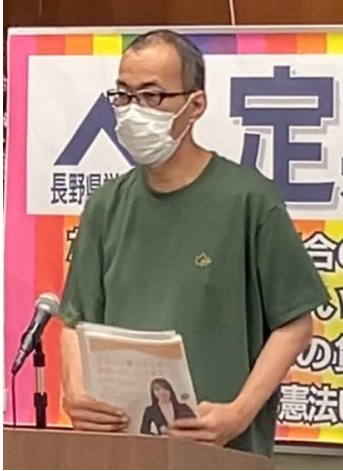
長野県労働組合連合会（県労連）

長野市県町593 Rinks593 Tel.026-217-9071 Fax026-217-9073

✉ krn@mx2.avis.ne.jp http://kenrouren.assrv.com/

第47回 長野県労連 定期大会

飯伊地区労連 津野代議員



大王パッケージの24春闘は、紙パ業界全体が満額かそれ以上の回答だった。大王製紙グループも高額な回答であり、対前年度5,000円の上積み回答だった。長野でも5,750円のベアも獲得。会社側は10年来ベアを認めてこなかったが、今までの運動の成果である。20年余に及ぶ実質賃金低下の回収にはならないが、中長期的な視点を持ち、今年以上の回答を目指す。

25春闘に向けて、23春闘の72時間ストの反省を踏まえると、数が足りない。組織拡大が重要。2014年に結成し10年、組合員数を過去最高の19名に戻す方針を確立してから5名の加入を実現した。今後は過半数も目指し、大きな要求を勝ち取るよう頑張りたい。

県労連、飯伊地区労連は地域を束ねる組織であり重要。積極的な参加をしていきたい。

中高労連 柴本代議員

ジェンダー平等、年金者組合では男女同数を目指している。トイレについて、兼用のトイレを増やしてという記事があった。自宅でも兼用トイレを設置した。我が家のジェンダー平等を1つクリアした。これからも学習し身近なところから取り組みたい。

市民と野党の共闘について、中高労連では2015年の安保法制、長野県集会を契機に、闘いの輪が広がってきている。労働組合だけでなく民主団体とともに、19日にスタンディングを行い、100回を超えている。中野市には戦争遺跡の十三崖がある。昨年から平和のための戦争展、成功させてきている。

年金の課題、物価高騰に追いつかず、マクロ経済スライドも問題。地域経済活性化のためには、最賃の運動と合わせて年金の運動についてもご協力を。



南安地区労連 高梨代議員



平成の大合併で南安曇郡が安曇野市となり、南安地区労連は名称の課題を抱えてきた。結成当時には大きな裁判を2つ抱えていた。活動奮闘の歴史もあるが、10月の定期大会でわかりやすい「安曇野労連」への変更を提案する。親しみやすい組織にしたい。8月には新たに年金者組合も加わった。

平和行進の意義に賛同、平和について考えたいが、熱中症アラートで搬送されているなか、組合員にも賛同が得られるか。医療現場の職員として、救護の立場でも心配。もっと若い世代に平和について考える機会にしてほしいが、難しい。日程・時間帯の変更など、参加者のいのちを守るあり方を模索したい。

第47回 長野県労連 定期大会

ジェンダー平等宣言採択について

昨年の定期大会以降、3回のジェンダー平等委員会を開催し、宣言の検討、調査の実施、学習会の参加よびかけなどを行ってきました。特に学習会のよびかけでは、「はたらく女性の中央集会In長野」を契機として、今まで女性だけで行なってきた集会など、広く参加をよびかけ、参加者も増えてきました。また、地区労連の学習会の支援も行いました。取り組みについては全労連定期大会でも発言しました。

今回の定期大会で宣言が可決され、いよいよ取り組みが本格化します。定期大会の発言でもジェンダー平等の視点を、とよびかけたところ、予想した以上に多彩な取り組みや考え等、活発な論議がなされました。

すべての取り組みにジェンダーの視点を取り入れていきましょう。今後も県労連としてジェンダー平等に向けて、広く取り組みます。



感想

- 各労組の活動内容を知ることができ、自分の組合でも一層活動していきたい。対話と学びをできるように努力したい。
- 項目ごとの取り組みはわかるが、単産・単組ごとの取り組みを文書で明らかにしてほしい。
- 元気が出る大会だった。自分が何ができるか考えて取り組みたい。

